

二〇二四年度

入学試験問題

(二月一日午前)

国語

- 一 開始の合図があるまで問題用紙・解答用紙にふれないでください。
- 二 開始の合図があったら、最初に問題用紙五ページ、**解答用紙二枚**を確認してください。
- 三 解答用紙に受験番号と氏名を記入してから始めてください。
- 四 問題についての質問は受け付けません。印刷のはっきりしないところや用事があるときは、声を出さずに手をあげてください。
- 五 字数が指定されている問題は、記号・句読点も一字として数えてください。
- 六 問題用紙は回収しません。
- 七 筆記用具の貸し借りはしないでください。
- 八 試験時間は五十分です。終了五分前になったら知らせます。
- 九 答案を書き終わっても座席からはなれないでください。

一

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

湿地に依存する生物たちの生息を脅かしているものは、第一に、開発や農地整備や水田の耕作放棄です。水田そのものを消失させてしまう土地開発がおこなわれたり、大型機械を入れて効率よく作業をするために水田が乾田化されたり、水路がパイプライン化され排水路がコンクリートで三面張りにされたりして、①生息の条件が失われ、あるいは移動が妨げられ、かつて水田や水路で生活していた生きものの暮らしが次第に成りたたなくなりつつあります。水田耕作の放棄によって植生が変化することが、水辺の生きものの消失の原因になることもあります。

ニホンアカガエルなど、田植え前の水田に産卵するカエルは、乾田化や耕作放棄の影響を強く受けたと考えられています。産卵の時期に水田に水がなくなってしまう、産卵ができません。東日本ではトウキョウダルマガエル、西日本ではダルマガエルやトノサマガエルも、圃場整備（効率のよい農業をおこなうための農地の整備）や水田の消失の影響で激減したと考えられています。両生類の急速な衰退は地球規模で認識されていて、その原因には地球温暖化や水質悪化、開発やツボカビによる病気などが考えられますが、日本のカエルの場合は、水田とその周辺の環境の劇変が、その衰退の主要な原因であるといえそうです。

日本では、ゲンゴロウ類など多くの水生昆虫が、水田とため池を生活の場所として利用しながらさつやまで暮らしてきましたが、カ

エルやトンボなどと同様、水田環境の変化の犠牲となり多くの地域で激減しました。かつては普通にみられた大型のゲンゴロウ類は、今ではごく限られた地域でしかみられない、めずらしい昆虫になってしまいました。

湿地としてのはたらきをもつ水田は、かつては水草の宝庫でした。しかし、現在では、②在来（こころ）の水草の大半の種が、絶滅を危惧しなければならぬほど衰退しています。そのなかには、かつてごく普通にみられたミズアオイなどの水田雑草も含まれています。淡水魚や両生類、水生昆虫や水草などに絶滅危惧種が多いのは、水田を中心とするさつやまの水域にそれだけ大きな変化が起こったからです。

ため池は、③水田とは異なる役割でさつやまの生物多様性維持に寄与してきました。水田の中干しの時期に水をたたえたため池があれば、水がなければ生きられない水生昆虫も、そこに避難をすることが可能です。一方のため池も、管理のために定期的に干しあげられます（池干し）。ため池と水田とは、自然の氾濫原に存在する一時的な水域や永続的な水域のかわりとしての役割を、補完し合っていたのです。

池干しという伝統的な管理をすることで、ため池全体が水草に覆われることを防ぎ、適度に開水面を確保することができます。ほどよい開水面をもつ水草の豊かなため池では、異なる環境を好むトンボが、それぞれに適した生息環境を確保でき、多種類のトンボが共存できます。伝統的なため池の管理は、生物多様性を高めるのに役立っていたといえそうです。

しかし、(I) 化が重視される現代では、伝統的な管理は廃れ、手間を省くためにコンクリートで護岸されたりします。こうしたため池の管理の放棄や消失が、水辺の生きものを窮地においやった第二の要因です。

さらに、水草を除去する目的でソウギョが放たれることもあります。ソウギョは中国産の外来種(本来の分布範囲の外へ移動させられた生物)です。しかもソウギョは、生態系に大きな影響を及ぼす侵略的外来種、(A) 生態系や生物多様性、人間活動などに悪影響をもたらす外来種です。

大きな体で植物を大量に食べるソウギョは、ため池における水草の除去には大きな効果を発揮します。(B) ソウギョが放たれたため池では、沿岸帯の抽水植物まですっかり食べ尽くされて、水生植物がまったくみられなくなってしまう。大食漢のソウギョの糞が池の底に大量にたまれば、その分解に大量の酸素が消費され、池の底は無酸素状態となり底生生物も水生昆虫も棲めない死の池に化してしまうこともあります。このような外来種の増加が、水辺の生きものを脅かす第三の要因です。

釣りの楽しみのため、(C) ペットを飼いつづけることができずに捨てたために、ため池には多くの外来種が放たれてきました。それらは、侵略的外来生物として生態系に大きな影響を与えています。北アメリカ産のブラックバスやブルーギルが、釣りの楽しみのために国内のさまざまな水系に放流されて、魚類をはじめとする多くの在来生物を局所的に絶滅させるような影響を与えていることは

よく知られています。

しかし、アメリカザリガニ、ウシガエルなども、いまや日本の池沼に普通に見られるほど広がっています。そして、これらが生息する水域では、多くの在来生物がすでに絶滅していて、かつての豊かな状態とは比べものにならないほど、生物の(II) が低下しています。また、子どもたちがペットとして飼い、その多くが池などに捨てられるミシシッピーアカミミガメ(みどりがめ)も、多くの地域でもっとも普通のカメになりつつあります。有機農業などで積極的に導入されることもあるスクミリンゴガイも、水草などへの影響が大きく、生態系を単純化してしまいます。

日本では、飼っていた動物などを野外に放つことは、「善きおこない」とされてきました。購入時には小さく可愛かったミシシッピーアカミミガメが、飼っているうちに大きく獍猛になつて(III) に余るようになったとき、家族は子どもたちにそれを野外に「戻してあげる」ことをすすめ、子どもたちはそれにしがたがいます。

生きものを自然に戻すことを善行とするのは、仏教の戒律に由来します。また、そのことは、放生会という儀式を介して人々に教育されていきました。放生会は、つかまえた魚や鳥獣を野に放し、殺生を戒める儀式です。仏教と神道がまざりあつてからの日本では、収穫や豊穰を祈り、感謝する意味をもこめて、春や秋に、寺院や神社などで実施されてきました。それが、現代的な商業主義とも結びつき、放流するための生物の販売もおこなわれるようになりました。

大きな池の水神さまの傍で、池に放つために、常時ミシシッピーアカミミガメを子どもたちに売っているところすらあるのです。

昔のように、魚や鳥獣がその地域で捕獲され、ふたたびそこに放たれる、ということであれば、そのような行為や行事が、とくに問題をもたらすことはなかったでしょう。しかし、今は違います。他の地域で捕らえた動物や外来生物を放してしまうため、その行事自体も、また、それを通じて子どもたちの心に植え付けられる善行のイメージも、残念ながら生物多様性と生態系にとっては④大いに問題のあるものとなってしまっているのです。

(鷺谷 いづみ『さとやま生物多様性と生態系模様』より)

問一 — 線部①「生息の条件」とありますが、どのようなことですか、簡潔に答えなさい。

問二 — 線部②「在来の水草の大半の種が、絶滅を危惧しなければならぬほど衰退しています」とありますが、どのようなことですか、本文中から十字以内で抜き出して答えなさい。

問三 — 線部③「水田とは異なる役割」とありますが、どのようなことですか、最もふさわしいものを、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 放流された生きものを釣るといふ楽しみがあること。
- イ 飼育不可能となった生きものを放つことができること。
- ウ 様々な生きものの好む水草が多く存在していること。
- エ 定期的な池干しの管理を通じて水質の悪化を防ぐこと。
- オ 水田に水がなくなる時期にも水をたたえていること。

問四 本文中の(Ⅰ)にあてはまる漢字二字の熟語として最もふさわしいものを、本文中から抜き出して答えなさい。

問五 本文中の(A)～(C)にあてはまる言葉として最もふさわしいものを、次のア～ウの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア あるいは
- イ すなわち
- ウ しかし

問六 本文中の(Ⅱ)にあてはまる漢字三字の熟語として最もふさわしいものを、本文中から抜き出して答えなさい。

問七 本文中の(Ⅲ)にあてはまる漢字一字を答えなさい。

問八 水辺の生きものを危機に追いやった原因として、筆者が挙げているものを三つ、本文中から簡潔に抜き出して答えなさい。

問九 本文全体を三つの意味段落に分けた場合、(1)第二段落、(2)第三段落の最初の五字をそれぞれ本文中から抜き出して答えなさい。

問十 —線部④「大いに問題のあるものとなってしまふ」とありますが、あなたはどのように考えますか、二百字以内で書きなさい。

二

次のカタカナの文章を読んで、漢字とひらがなと読点を正しく用いて書き直しなさい。

サクラヤヤナギモミジナドシキヲツウジテウツクシ
イケイカンガタノシメルカワゾイノサンポミチヤト
ウジノマチナミガヨクホゾンサレテイルブケヤシキ
グン。カンコウメイシヨトシテミドコロノオオイマ
チデスガナカデモニンキガタカイノガユイイツテン
シユガゲンゾンシテイルヤマジロデス。アキニハタ
カイカクリツデウンカイニウカブゲンソウテキナス
ガタヲミルコトガデキマス。

三

次の(1)～(5)の——線部の漢字をひらがなに、(6)～(10)の——線部のカタカナを漢字に改めなさい。

- (1) 生薬を配合する。
- (2) なんとか資金を工面した。
- (3) 素行を調べる。
- (4) 再考の余地がある。
- (5) 名作の復刻版を見つけた。
- (6) コンリンザイ会わない。
- (7) ショウジュンを合わせる。
- (8) ハチクの勢いで進撃する。
- (9) 今年の暑さにはヘイコウした。
- (10) 対策が功をソウした。

四

次の(1)～(5)の()にあてはまる言葉として最もふさわしいものを、後のア～オの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) 客が定刻に来ないので主人は()している。
- (2) 東の空が()と明るんできた。
- (3) 糸が()と切れた。
- (4) 皆が心配しているのに、本人が()としているのは困る。
- (5) 子供に痛いところを突かれて()となった。

ア	ふつつり	イ	ぎゃふん	ウ	ほんのり
エ	のほほん	オ	やきもき		

受験番号			
------	--	--	--

氏名	
----	--

得点	*
----	---

*印のころは、何れ記入しないでください。

問一	
問二	
問三	
問四	
問五	A B C
問六	
問七	
問八	
問九	(1)
問十	(2)

小計	<input type="checkbox"/>
----	--------------------------

*

